

環境方針

[理念]

ヤクルト本社の「ヤクルト環境基本方針」に基づき、当茨城工場は、地球環境の保全が、人類共通の課題であり、また「社会と共生する経営」の最重要課題の一つであることを認識し、環境保全と周辺環境との調和を配慮した活動を行います。

[行動指針]

当工場が行う乳製品乳酸菌飲料の生産活動において、環境負荷の低減とともに当工場が立地する権現堂川、利根川の豊かな水に恵まれた条件を認識し、水と自然を大切に活動を行います。さらに、関係諸官庁と地域住民とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献します。

1. 当工場内に管理職者・社員を委員とする「EMS委員会」を設置し、生産活動が環境に与える影響を的確に捉え、経済的、技術的に可能な範囲で環境目標を定めるとともに、定期的に見直しを行い、環境保全活動のシステムとパフォーマンスの継続的向上を図ります。
2. 環境関連の法律や規制を順守することはもとより、可能な範囲で自主基準を設定して環境管理レベルの一層の向上に努めます。
3. この環境方針を全従事者に伝達するとともに、全員が参画する組織を設けて環境保全活動を推進し、環境教育を実施します。
4. 利害関係者とのコミュニケーションを強化し、清掃活動等を通して社会や地域における環境保全活動への支援、協力を積極的に行います。
5. 生産活動に当たっては、公害防止策の一層のレベル向上と汚染の防止に努めるとともに、廃棄物の削減、省エネルギーの推進、および再生資源の利用向上に努めます。
6. 事業活動の全般において、環境のみならず生物多様性にも配慮した環境負荷の低減化の推進に努めます。
7. 重点活動項目として、次に示す環境活動を行います。

環境活動事項

- (1) 省エネルギー、省資源の推進（地球温暖化ガス(CO₂)発生量の抑制)
- (2) 緑化推進と環境ボランティアの実施
- (3) 生産性の向上

【適用範囲】

組織名称：(株)ヤクルト本社 茨城工場

所在地：茨城県猿島郡五霞町大字川妻1232-2